



児島虎次郎《登校》1907年



児島虎次郎《和服を着たベルギーの少女》1910年

所蔵品展

児島虎次郎 - 絵画の変遷 - / ヨーロッパに魅せられた作家

2026年2月1日(日)～3月29日(日)

会場：高梁市成羽美術館 1.2 階展示室 開館時間：9:30～17:00(入館は16:30まで) 休館日：毎週月曜日(祝祭日の場合は翌日休館)

入館料：一般・シニア 500 円 高大生 300 円 小中生 200 円 高梁市内在住の小中生または 65 歳以上の方 無料

イベント情報：当館ホームページをご確認ください 主催：高梁市成羽美術館 協賛：大東建設株式会社

高梁市成羽美術館 〒716-0111 岡山県高梁市成羽町下原 1068-3 TEL 0866-42-4455 <https://nariwa-museum.jp>



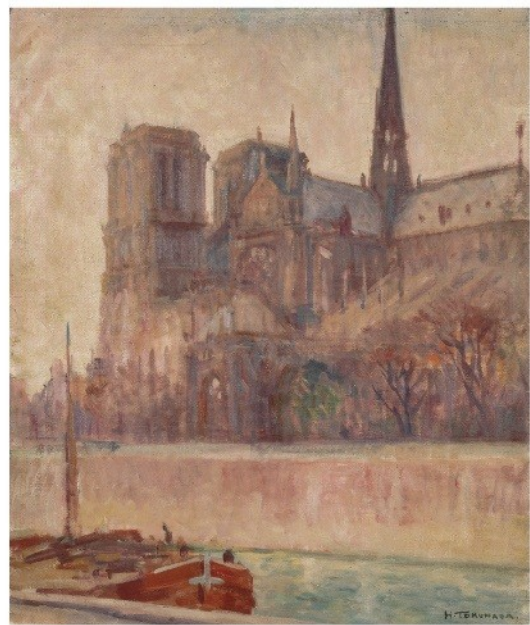
秋岡信二郎《花》制作年不詳



秋岡信二郎《自由なポーズ(1)(2)》制作年不詳



徳永仁臣《巴里 ノートルダム寺院の夕もや》1912-13 年





児島虎次郎 - 絵画の変遷 -

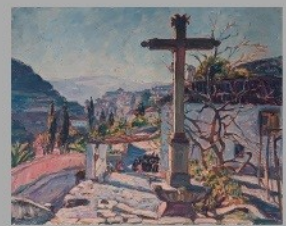
成羽町出身の洋画家・児島虎次郎は20歳の時に画家を目指して上京し、東京美術学校で油彩画を学んだ後、卒業後は更なる絵画の研鑽に努めるため、西洋画の本場であるヨーロッパに留学しました。主にベルギーを拠点とし、同地の美術学校での学びをきっかけに、日本で習得した画法は大きな変化を遂げるとともに、虎次郎は生涯にわたり画家としての「自らの固有なるもの」を追い求めることになります。

留学を経て虎次郎は何を学び、どのような技術を習得したのでしょうか。そして人々との出会いを通じ、どのような影響を受け、自分らしい絵画を模索したのでしょうか。初期～晩年までの絵画約40点をもとに、作風の変遷に注目し、挑戦の足跡を展観します。

児島 虎次郎 (1881-1929)

- 1881 川上郡下原村（現高梁市成羽町）に生まれる
- 1902 東京美術学校西洋画科選科に入学
- 1907 東京勸業博覧会美術展に出品した《なさけの庭》が西洋画部門で一等賞を受賞。宮内省買い上げとなる
- 1908 本場の西洋画を学ぶため5年間の欧州留学に旅立つ。フランスを経てベルギー・アントワープを拠点とする
- 1913 帰国後、倉敷市酒津に居を構える
- 1918 第1回目の中国旅行。絵画制作と古美術品収集を行う。虎次郎は生涯に4回中国を訪問する
- 1919 第2回目の渡欧。絵画制作のほか、大原孫三郎に願い出、優れた西洋絵画の収集に尽力する
- 1920 サロン・ナショナルに出品した《秋》がフランス政府買い上げとなる
- 1922 第3回目の渡欧。西洋絵画の収集のほか、エジプトに立ち寄り、古代エジプト遺物を収集
- 1924 明治神宮聖徳記念絵画館の壁画制作者の一人に推挙される。画題は「対露宣戦御前会議」
- 1929 逝去。享年47歳

当館
初公開作品



児島虎次郎《スペイン風景》1920年頃（個人蔵）



ヨーロッパに魅せられた作家

当館に新たに収蔵された成羽町出身の彫刻家・秋岡信二郎の作品の公開を記念し、本展を実施いたします。秋岡は主にブロンズを素材とした美しい女性像を手掛けたほか、フランスやイタリアをはじめとしたヨーロッパに学び、独特な深みのある色彩の絵画も描きました。また、本展では秋岡作品と共に、ヨーロッパの風景や人物を描いた和気町出身の画家・徳永仁臣の絵画も公開します。2人の作家が捉えた「麗しのヨーロッパ」をご覧ください。

徳永 仁臣 (画号 柳州) (1871-1936)

- 1871 和気郡藤野村（現和気町）に生まれる
- 1886 岡山市の洋画家・松原三五郎に洋画の初歩を学ぶ
- 1889 上京し、二世五姓田芳柳の画塾で洋画を学ぶ
- 1893 画塾・審美学舎を開き、鉛筆画や水彩画を教える
- 1898 朝報社に入社。のちに画報部主任となる
- 1912 渡仏。パリ、アカデミー・ジュリアンに入学
- 1914 帰国。朝報社を退社し、画家として活動を始める
- 1918 光風会会員となる
- 1923 関東大震災後に〈移動震災実況油絵展覧会〉を組織し、日本全国からアメリカ各地まで巡回展を実施。震災後は富山に移住
- 1936 逝去。享年65歳

秋岡 信二郎 (1927-2020)

- 1927 川上郡成羽町（現高梁市成羽町）に生まれる
- 1957 岡山大学特設美術科卒業
- 1964 第6回現代日本美術展入選
- 1966 第30回新制作協会展入選。同年、岡山にて個展
- 1974 パリ、アカデミー・ドゥ・ラ・グランド・ショミエールにて研修
フランス、イタリア研修旅行
- 1977 昭和52年度全国高校総合体育大会記念碑制作
- 1982 東京日本橋高島屋にて個展
- 1985 成羽町合併30周年記念 成羽ゆかり 郷土の油絵・彫刻展
- 1995 倉敷市立美術館にて個展
- 1998 高梁市成羽美術館にて個展
- 2020 逝去。享年93歳

アクセス●JR岡山駅から伯備線<特急やくも>約35分または<普通>約50分、JR備中高梁駅下車。
駅直通のバスセンターから成羽方面への備北バス約20分、「成羽」停留所下車、「たいこまるプラザ」隣。
●山陽自動車道・倉敷ICまたは笠岡ICから約50分●岡山自動車道・賀陽ICから約30分、岡山総社IC、有漢ICから約40分●中国自動車道・北房ICまたは新見ICから約50分●岡山空港から車で約60分

高梁市成羽美術館

〒716-0111 岡山県高梁市成羽町下原 1068-3
TEL 0866-42-4455
<https://nariwa-museum.jp>

